

政策課題2 人口減社会におけるあらたな行政運営

行政による規制や制限等が地域づくり活動を阻害していないか、地域づくりのなかで、市民が何を求めているのか等を調査するため、地域別意見交換会会場等にてアンケートを配付し、164件の回答をいただきました。

今後、ご回答いただきました貴重な意見から、政策課題の調査分析を深めていきます。



政策課題3 健康・元気・安心社会の実現

「社会福祉法人樹心会（揖斐郡大野町）」の視察及び重症心身障がい児の保護者らとの分野別意見交換会を開

催し、課題の調査・分析を行いました。

【行政視察】

① 児童養護施設樹心寮

◆概要

保護者のいない児童や虐待されている児童、環境上養護を要する児童を入所させて養護し、その自立を支援することを目的とする施設（児童福祉法第41条）。シヨートステイ、トワイライト事業も展開。

◆特徴

・早い段階から小規模化し、平成11年には全面改築し5棟のグループホーム制に移行。建物は一般的な住宅を思わせる作りで、出来るだけ子供たちを家庭的な雰囲気の中で育てたいと言う理念を掲げている

・献立を決めず子どもたちと買い物に行つて料理をするなど、ごく一般的な家庭に近い状態で家事を一緒にすることで、生

活能力の育成にもつなげている
・グループは男女混合で縦割りとし、兄弟姉妹を別々とするこ
とによる子どもへの精神的負担にも配慮している



樹心寮

② 大野子ども家庭支援センター「こころ」

◆概要

児童家庭支援センターは現在、全国に98か所、岐阜県には3か所（岐阜・中津川・大野）

◆機能

・子ども相談センターから児童の指導委託
・県下3つの児童家庭支援センター、子育

ての担当者、県里親会等との連携

・町の教育委員会や学校との連携、発達障がい児や不登校児への支援、ケース検討会議への参加など

◆主な相談内容

・発達障がい、対人関係など心理相談が多い
・電話での相談件数は少なく、大垣等都市部に出掛けて利用の啓発をしている
（具体的には、娘の子育ての不安、不登校の相談など）

【意見交換会】

重度の肢体不自由と知的障がいをお持ちのお子さんと保護者（9組）・訪問看護ステーション所長との意見交換

◆課題

・相談支援機能がない
・デイサービス、シヨートステイ、障がい児の学童保育などレスパイトケアがない
不足している

・高等部卒業後の行き場がない

・施設が満杯で入所できず、親亡き後などの不安が尽きない
・医療資源に乏しく、往診などにも来ても
らえず、遠方に行く
ことを余儀なくされている

・自立支援法から総合支援法に移行後も、何も変わっていない
・障がい児等看護支援事業は、とても役立つという。利用者が少ないと聞くので、もっと周知を

障がい児等看護支援事業とは

全国的にも珍しい高山市独自の事業であり、医療保険の適用時間を超える訪問サービスについて助成を行っている
担当・子育て支援課



◆提言の方向性

虐待や障がいによって子どもが育つ環境が左右されることなく、すべての子どもが健やかに育つ環境を整えるため、地域の子育て支援の拠点として「児童家庭支援センター」の開設など、子どもに関する総合的なケアシステムの確立が急務である。

総務厚生委員会では、第八次総合計画への政策提言に向け、今までの調査・研究を踏まえ、議員間での協議をさらに深めていきます。